

# 令和3年度 事業報告

社会福祉法人 慈敬会

特別養護老人ホーム ヒューマン・ケアこうしの杜

# 令和3年度 こうしの杜 入所事業報告資料

令和4年5月28日

## 1. 利用状況

### 1-1 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

	男性	女性	合計
入所者数	8	20	28

### 1-2 入所利用者の要介護度

介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計	平均
人数	0	0	4	14	10	28	4.21

### 1-3 年齢別利用者数

年齢（歳）	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	平均年齢
男性	0	1	1	5	1	87
女性	0	1	2	6	11	90.2
						89.3

### 1-4 入所申込（待機）の状況

介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
人数（人）	0	3	8	6	1	18

### 1-5 入所利用状況

	実日数	延人数	入・退所		入所率（稼働率）
	入所	入所	入所	退所	入所
4月	30	854	0	0	98.2%
5月	31	856	0	1	95.2%
6月	30	832	1	0	95.6%
7月	31	797	0	1	88.7%
8月	31	766	1	1	85.2%
9月	30	790	1	2	90.8%
10月	31	848	3	1	94.3%
11月	30	849	0	0	97.6%
12月	31	837	1	2	93.1%
1月	31	855	1	0	95.1%
2月	28	786	0	2	96.8%
3月	31	862	1	0	95.9%
累計／平均	30.4	9932	9	10	93.9%

## 2. 苦情処理について

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員	
土屋 政伸	椿 一夫	井 子文	横山 廣秋

### 苦情・相談内容及び件数

受付日	内容	解決策	
R3. 6. 14	利用者本人より、先週はお風呂に1回しか入らなかった。少し立腹気味に2回は入らなとの申し出あり。	入浴予定日を決めて、職員へ周知する。今回は予定がずれてしまった為に、入浴が出来なかった。その際本人へしっかり説明が出来ていなかった。今後は入浴日を本人へお伝えする様に徹底していく。上記の件を、本人へお伝えして謝罪し了承された。	
R3. 10. 28	利用者本人より、先日薬を落としてしまった件でお話しされる。朝早く起こされてしっかり起きないのに薬を手に乗せられて落とした。落ちたと言ったが探してくれなかった。接し方が怖くてそれ以上何も言えなかった。	職員本人も気づきがあり、その方のケアを後にする傾向にあったので、改めたいという結論になった。利用者へ謝罪しその件をお伝えし、納得された。	
R3. 11. 2	利用者本人より、私はここを出て行きたい。人として思いやりを持って接して欲しいとの事。個人職員名を出され口調が強いとの訴えがあった。	「介護のルール」、「虐待について」、接遇の研修を実施する。利用者本人へは謝罪し了承された。	
R3. 11. 2	利用者本人より、昨日の夜は怖かった。(夜勤者)男の人が寝る所に押し倒して、何か言われて怖かったとの訴えあり。	「介護のルール」、「虐待について」、接遇の研修を実施する。利用者本人へは謝罪し了承された。	
		合計	4

## 3. 防災管理について

### 総合防災訓練の実施状況（2回/年実施）

【第1回目】…令和3年6月30日に総合防災訓練を実施（夜間想定）自主訓練  
 ・事故等なく避難誘導が出来ていた。夜間帯3名の想定でしたが、スムーズに行動出来ていました。訓練終了後に消防用設備についても説明を受けました。

【第2回目】…令和3年12月8日に総合防災訓練を実施。（日中想定）自主訓練（消防署立会い自粛）  
 ・特に問題等なく実施できました。訓練後に、初期消火訓練と防災設備の説明を業者の方より行って頂いた。

### 消防用設備等の点検状況（三菱電機ビルテクノサービス）2回/年実施

- ・令和3年9月8日実施。…異常なし。
- ・令和4年3月22日実施。…異常なし。

4. 職員数、職員採用状況：令和4年3月31日付

職員数 39名（前年同月数 39名）

- ・正職員 29名、パート他職員 10名（前年同月：正職員 30名、パート他職員 9名）
- ・男性 13名 女性 26名（同年同月：男性 15名、女性 24名）
- ・合志市在住者 20名（51%）

<R3年4月1日～令和4年3月31日>

- ・退職者 2名（介護正職員 2名、）
- ・入職者 4名（介護パート 2名、介護派遣社員 2名）
- ・派遣介護職員 2名（今年度より採用）
- ・開設から勤続9年目になる職員が 15名（全体の 36%）

<入所事業>

配置基準の職種（人数）	人数 （兼務）	有資格（前年数）
施設長：1	1	社会福祉士 1名（1）
看護師：1	4	看護師（准） 4名（0）
介護職：10	18	介護福祉士 16名（17）
理学療法士	1	介護支援専門員 5名（5）
生活相談員：1	1	社会福祉主事 2名（2）
介護支援専門員：兼務可	1	管理栄養士 3名（2）
管理栄養士：1	1	調理士 2名（2）
事務職	4	理学療法士 1名（1）
調理員	4	ユニットリーダー研修受講者 3名（3）
清掃	2	認知症介護実践リーダー研修修了者 3名（5）
委託医（非常勤）	（1）	認知症ケア専門士 4名（4）
		介護職員基礎研修修了者 1名（6）
計	36名	

<通所事業>

配置基準の職種（人数）	人数（兼務）	有資格、上記にまとめる
管理者・生活相談員（1）	1	人員基準：看護・介護合わせて算定
看護職（兼務可）	1	
介護職（2）	2	
計	4名	

\*通所事業の報告 P.10

<居宅支援事業>

配置基準の職種（人数）	人数（兼務）	資格：看護師・介護支援専門員
管理者・介護支援専門員	1	
計	1	

## 職員状況の詳細

令和4年3月末時点で介護職18名、看護職4名と実際の入居者の方へのケアができる人員は22名であるが、そのうち介護職は時間短縮、日勤希望者が増えており、夜勤ができない職員、高齢者雇用も増えてきている。また、職員の体調等を考え業務時間や内容等の変更を行っている。今後も更にケアや業務の工夫が必要である。

ソフト面だけではなくハード面でも業務簡素化や介護機器のICT導入等、課題が多くケアの質も担保もできるように職場環境が大切である。

## 5. 職員 福利厚生

- ・職員健康診断料：夜間勤務者は年2回実施（3月・9月施行）、新入職者検診
- ・インフルエンザ予防接種（10月）
- ・誕生日クォーカードプレゼント

## 6. 令和3年度 施設運営と入居者へのケアの報告

主な活動 \*は、地域交流内容

年月	施設運営設備管理	主な行事・余暇活動 *地域交流	職員研修会（内部）
R3年 4月	新型コロナ感染予防 記録ICT開発事業	・18日～面会中止	・職員のメンタルサポート
5月	食中毒予防啓発活動	・居室環境整備、清掃、衣替え	・感染症について (食中毒、ノロウイルス)
6月	防災訓練・消防設備点検 1, 2回コロナワクチン	・面会開始 ・水無月のお茶会	・防災管理 (非常対策委員会)
7月	キャラバン車両点検		・高齢者の権利擁護につて ・身体拘束をしないケア
8月	こうしの杜便り発行	・納涼祭 ・面会制限	・国保連主催 ZOOM研修 レポート提出 ・
9月	消防点検 キャラバン車両点検 キューブ車両点検	・敬老会・式典（ご家族参加なし） ・花火観賞（玄関前）	・リスクマネージメント集計分析 <b>ZOOM</b>
10月	インフルエンザ予防接種 介護システム導入	・ご家族面会開始 ・音声システム試験導入開始	・音声システム説明 ・食事ケアを考える
11月	感染症予防月間	・スポーツ大会（感染管理して）	・感染症対策 ・コロナウイルス感染管理 (外部講師：認定看護師)
12月		・クリスマス・忘年会 (ご家族参加なし)	・ハラスメント規定説明 ・食事なし忘年会

R3年 1月	3回目コロナワクチン	・面会中止 ・記録の紙媒体廃止	・高齢者権利擁護 ・身体拘束・虐待防止について
2月	次年度委員会計画立案 備品在庫整理 職員健康診断 棒再点検	・節分、豆まき	・リスクマネジメント集計分析 <u>ZOOM</u> ・本年度事業まとめ、報告 ・次年度委員会計画
3月	エレベーター点検 4回/月	・桜花見（ドライブ）	・メンタルサポート：理事長 ・介護処遇支援金説明 <u>ZOOM</u>
備考		・ユニットでのおやつ作り ・くつろぎ喫茶・杜カフェ1/月：中止	

\*中止：運営推進委員会議、介護相談員訪問、各ボランティア（前年度に続き）

## 7. 施設委員会

以下の委員会を編成し、円滑な施設運営と入居者の方へのケアの向上に努めている

- ・研修記録委員会（月1回の施設内研修内容を考える ケアの質的向上）
- ・ケア改善委員会（日々のケアや業務改善を考える）
- ・リフレッシュ委員会（日々のレクリエーション・余暇活動・季節行事の充実を考える）
- ・リスクマネジメント委員会（危機管理 施設内のリスク回避や介護事故予防を考える）
- ・身体拘束適正委員会（高齢者の権利擁護を考える・リスクマネジメント委員会との兼務）
- ・保健衛生委員（衛生管理、感染症予防を考える）

R2年4月から新型コロナウイルスの情報収集を行い、そこからその都度、職員に情報提供と注意勧告を続けた。それをマニュアル化し3度改正行った。

感染予防のための備品管理補充、施設内消毒

- ・環境美化委員会（施設内美化、環境整備、エコを考える）
- ・災害防災対策委員会（施設内の防災、地域災害時の支援活動を考える）  
事業継続計画（BCP）作成
- ・広報委員（広報誌の作成、施設外への広報活動）
- ・栄養管理委員会（健康管理 栄養マネジメント 食の愉しみを考える）

各委員会は、少数人数のため会議室でお互いの距離を保ち、月1度の委員会を開催し業務を実行した。各委員会が企画する行事や研修会等は、通常に比べ縮小したり中止としたり、全国や熊本県下の感染状況や動向を留意しながらケアや業務を行った

## 8. 運営推進会議の状況

会議の開催については、その都度施設内で議論したが、今年度はすべて中止とした。

## 9. 入居者の方へのケアの詳細

### ①入居者の方へのケアについて

旧財務局局長提案による介護事業での業務改善を目的としたDX化により、介護システム（記録の音声入力）開発モデル施設として実施試験を行っている。それに伴い紙媒体の記録を縮小した事で記録の簡素化ができています。

また、業務改善を目的にインカムで遠隔申し送り施行中。短縮された時間をケアに活かせるよう更なる工夫を考えています。

### ②ケアカンファレンス

朝の引継ぎ後 25～15 分のカンファレンスを継続している。その内容はおひとりお一人についてのケアの方法や業務の見直し、事故の再発予防について等の検討を行いケアの統一を行っている。また、チームワークにおいても必要なことと認識し位置づけている。

今年度も、お互いの距離に注意しながらカンファレンスを行っている。

### ③ケアプラン・機能訓練実施状況

ケアプランに基づき個別の機能訓練計画書を作成し実施している（加算算定はなし）。通常であれば計画書の内容は、歩行訓練や移乗動作訓練に加え、生活に即した動作の習慣や食事の下ごしらえ、食事の準備や後片付け、掃除や洗濯物の整理など入居者間の交流を行いながらの機能訓練であるが、新型コロナウイルス感染予防により、入居者の方同士の距離や接触を少なくする目的で実施プランは個人での機能訓練が主な内容となった。

ケアプラン発表については、ご家族の参加はご遠慮いただき、後に書面で報告とした。

### ④余暇活動について

日々の余暇活動については、個別のケアプランを基にその日のユニット担当者が実行している。

また、それ以外にリフレッシュ委員会で季節のイベントや外出ドライブを企画し感染管理を徹底し時期を変更したり縮小してでも開催するようにした。

### ⑤感染症対策について（総括）

R2 年 2 月中旬から引き続き感染症の注意勧告→ご家族への面会制限から面会中止の繰り返しの対応を行った。特に職員への感染症に関する情報伝達や注意警告等はグループ LINE を使用し啓発を行った。更に厚労省の感染対策資料を基に新型コロナウイルス感染予防マニュアルを作成しその内容は、①入居者の方への配慮やケアについて ②職員の日常生活や就労上の注意等をまとめ ③感染症発生時の対応等、フローチャート作成を行い職員に周知した。

また、コロナウイルスワクチン接種状況については入居者の方、職員ほぼ全員 3 回目まで接種を済ませている。

## ⑥入居者の健康管理について

入居前には、嘱託医先に受診しご家族と医師が接見し、その後もご本人とご家族が医師からの身体の状態上の説明を受け、安心して施設生活を送れるように医師と連携している。

施設内の健康管理は、月 4 回火曜日に嘱託医の往診がある。内服の変更や症状の変化があれば、ご家族へ随時連絡している。また、病状の増悪が懸念される場合や今後の療養の検討が必要な場合には、早期に医師からの説明を受けられるように、ご家族に連絡を行い今後の療養を医師とご家族と相談している。

### 嘱託医とご家族との面談

- 1) 入居者の方の状態が変化したとき
- 2) 状態が悪化傾向にあり今後の療養が心配されるとき
- 3) ご家族からの相談があったとき
- 4) 看取り期と嘱託医が診断されたとき

## ⑦最期のお看取りのケアについて

最後まで施設で過ごされ、施設でのお看取りをさせていただいたのは 6 名の方であった。

ご本人が安楽に最期を全うされるように自然な療養かつ緩和ケアを選択されるご家族がほとんどであった。

施設でのお見取りが多くなることで、命の尊厳をより考えるために、前田医師とケアについて常に相談し検討を重ねている。



## 10、食事サービスについて

### 【給食に関する方針】

入居者様を食事づくりに参加できる機会を作って、残存機能を生かし、生きがいの場を設ける。安全・安心な料理の提供、また、地産地消をとり入れる。  
その土地の食材や郷土料理をとり入れ、家庭的で高齢者になじみのある料理を提供する。

### 【栄養量等の状況】

	エネルギー kcal	蛋白質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミンC mg	塩 g
令和3年度の 栄養所要量	1560	52	650	6.7	100	7
令和3年度 給与栄養量	1751	62.4	692	9.7	114	9.7

(1) 利用者がくつろいで食事出来るような配慮及び対応  
なじみの人とテーブルを囲んで食べる。各自の湯のみを持参する。  
また、食器は陶器を使用して家庭的な雰囲気を作っている。

(2) 利用者の身体状態（咀嚼能力、健康状態等）に合わせた調理への配慮及び対応  
その都度栄養士に報告し、次の提供時に対応できるようにしている。  
カンファレンスにて報告、また、栄養士が食事場を巡回し、確認して対応している。

(3) 食事が適温で食べられるような配慮及び対応  
ユニットには、冷蔵庫・電子レンジ、IHコンロがあるので、  
遅れて食べる人には対応している。各ユニットにてご飯を炊いている。  
また、汁物は各ユニットで温めている。

(4) 利用者の身体状態に応じた食事のための自助具等の活用  
個人用自助具は各自持参してもらっている。  
麻痺や視覚障害がある人にはその人にあった陶器を使用している。

### 【食事形態】

令和4年3月 1日現在

軟菜食	刻み食	やわらか 食	極キザミ 食	ミキサー 食	ミキサー ハーフ食	合計
5	7	0	9	2	3	26

(在籍入居者26名)

### 【食費】

朝食：380円 昼食：500円 夕食：565円 1日：1,445円

# 通所介護利用者状況

登録者数 … 15名 令和4年3月31日現在

入院中 … 2名

## 1. 介護度別利用回数状況

年 月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	延回数	実日数	稼働率
R3.4	6	9	18	22	27	12	6	100	22	23.9%
R3.5	7	8	24	13	26	16	13	107	21	26.8%
R3.6	9	7	19	22	27	16	15	115	22	27.5%
R3.7	8	9	18	18	27	9	12	101	22	24.1%
R3.8	9	9	18	13	28	12	16	105	22	25.1%
R3.9	8	9	16	21	29	14	16	113	22	27.0%
R3.10	3	8	17	8	33	12	13	94	21	23.5%
R3.11	1	9	18	8	31	13	13	93	22	22.2%
R3.12	9	8	17	3	18	14	16	85	22	20.3%
R4.1	7	9	16	2	33	18	13	98	20	25.7%
R4.2	6	10	16	6	22	16	11	87	21	21.8%
R4.3	0	24	23	0	16	9	17	89	22	21.2%
合 計	73	119	220	136	317	161	161	1187	259	24.1%

※稼働率 = 延回数 ÷ 定員19名×実日数

## 2. 利用者介護度(R4.4.26現在)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	各介護度×人数 要支援=0.375× 人数 平均介護度
人数	0	3	3	2	1	2	2	13	2.3
介護度× 人数	0	1.125	3	4	3	8	10	35.125	

## 3. 利用者保険者(R4.4.26現在)

保険者	合志市	熊本市	菊池市	大津町	阿蘇市	南阿蘇村	多良木町	合 計
人数	11	0	0	1	1	0	0	13

## 4. 利用者男女比・年齢(R4.4.26現在)

※吉永英次様 52歳

性別	人数	合計
男性	2	13
女性	11	

性別	平均年齢
男性	71.5
女性	85.4

全体平均年齢
78.45歳

年齢	70未満	71~75	76~80	81~85	86~90	91~95	96~100	合 計
男性	1	1	0	0	0	1	0	3
女性	0	0	2	2	3	2	1	10
合計	1	1	2	2	3	3	1	13

## 5. 曜日別利用者人数(R3.3.31現在)

曜日	月	火	水	金	土
人数	4名	5名	6名	8名	3名

登録者13名

週延べ人数26名

週平均5.2名

※ 利用終了…3名(死亡2名・入所1名) 待機中…2名

## 6. 活動状況

年 月	デイサービス屋外活動	デイサービス行事・趣味活動・生活リハビリ	施設行事・慰問
R3. 4	桜花見ドライブ(富士フィルム)	おやつ作り(白玉粉でミルク焼きもち) 映写会 誕生会	慰問中止
R3. 5	外出中止	おやつ作り(餃子の鯉のぼり) 映写会 誕生会	慰問中止
R3. 6	外出中止	映写会 誕生会 おやつ作り(八ツ橋風、簡単ピザ) 梅シロップ作り	慰問中止
R3. 7	外出中止	映写会 誕生会 おやつ作り(フルーツパンケーキ)	慰問中止
R3. 8	外出中止	デイサービス夏まつり(袋釣り・ストラックアウト・カキ氷・明石焼き) 誕生会	慰問中止
R3. 9	外出中止	おやつ作り(みたらし団子) 映写会 誕生会	敬老会 慰問中止
R3. 10	コスモス見学ドライブ(旭志・ほたるの里)	デイ体力測定 映写会 誕生会 おやつ作り(かぼちゃのスイートポテト風)	慰問中止
R3. 11	菊人形展見学	おやつ作り(さつまいもボール) デイサービス文化祭・利用者作品展 デイサービス運動会 映写会 誕生会	慰問中止
R3. 12	外出中止	デイサービス忘年会&クリスマス会 映写会 誕生会 おやつ作り(ヨーグルトパフェ)	忘年会、クリスマス会 慰問中止
R4. 1	初詣(三ノ宮神社)	おやつ作り(ぜんざい) 映写会 誕生会	慰問中止
R4. 2	外出中止	おやつ作り(ガトーショコラ) 映写会 誕生会	慰問中止
R4. 3	桜の花見ドライブ (フジフィルム・ホンダ技研)	おやつ作り(桜もち) 映写会 誕生会	慰問中止

### ・機能訓練

毎日、小集団での体操を実施し筋力維持を図っており脳トレーニングや手指を使った巧緻作業等で認知症予防を図っている。又、個別のニーズに応じた機能訓練を機能訓練士の計画の下、実施しておりそれ以外にも在宅生活に応じた生活リハビリ(洗濯たたみ、テーブル拭き、茶碗洗い、おやつ作り等)も取り入れている。

・家族支援

利用者の生活状況、住環境のアセスメントを行い、安全で快適に在宅での生活を継続できるようにケアマネージャーや関連機関との情報共有を行い、相談、助言等の支援を行っている。

・安全衛生

年間防災計画に基づき防火避難訓練、消火器、消火栓操作法訓練及び設備定期点検を実施している。感染症予防対策の研修(特養と合同)

コロナウイルス対策として毎日の利用者手指消毒、テーブル消毒、利用時間内のウィロック消毒、利用者帰宅後のフロア内のウィロック消毒、送迎車両の消毒を徹底し、デイスタッフの毎日の検温、体調チェックを行っている。

※ 令和4年2月にデイサービス利用者の家族がコロナに感染し、利用者も感染となる。

同じ日に利用していた該当者全員(6名)に抗原検査2回実施し、全員陰性。

スタッフも抗原検査2回実施、PCR検査実施し、全員陰性であった。

その間、デイサービスは4日間の営業休止。感染した利用者は1ヵ月程デイサービスを休まれ、利用希望日の前日と、当日の朝の2回抗原検査を行っていただき、2回とも陰性。

## 令和3年度 居宅介護支援事業所事業報告（案）

### （運営方針）

地域包括ケアの実現のために地域と連携し、下記の項目を中心に可能な限り在宅で自立した生活が送れるように支援する。

- ・認知症（若年性を含む）方の在宅支援
- ・要介護者ならび要支援者の重度化予防
- ・医療との連携
- ・在宅におけるターミナルケア
- ・利用者ならび家族支援

### （事業計画）

#### 1：基本事業

- ・利用者ならび家族からの相談を受け、要介護認定申請の代行ならびその後の支援を行い、サービス利用につなげる。
- ・認定後の福祉制度の活用や居宅サービス計画書の作成、サービス導入や連絡調整、モニタリング、給付管理業務など行う。
- ・地域包括支援センターからの委託を受け、要支援者の介護予防プランを作成、サービス導入や連絡調整、モニタリング、給付管理など行う。
- ・特養を含めたグループ施設と連携し、在宅での生活が困難な方への施設入所を含めた支援を行う。

#### 2：地域とのつながりを深め、地域福祉に貢献する。

- ・近隣小学校の福祉教育活動への参加協力（依頼時）
- ・合志市域包括支援センターを含む他市町村の包括支援センターと連携を図り、必要時は「地域ケア会議」に参加し、地域課題の提案や解決を含めた提言を行う。
- ・地域高齢者サロンへの活動協力
- ・地域からの相談を随時受け、関係各所に繋げる。

#### 3：支援状況

- ① コロナウイルス感染症拡大にて研修会の実施が難しい状況ではあったが主任介護支援専門員の更新要件に該当する研修には計2回参加する。
- ② 表1に示すように、返戻や月遅れ分があるが平均して39件前後の支援を行う。
- ③ 新規支援者のほとんどは合志市包括からの紹介、要支援から要介護に

介護度が変わった方で以前から利用していたデイがあり、自事業所に支援を依頼することが難しい状況であった。

表 1：介護度別月別利用者

年月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	支援合計	介護合計
R3.4	4	3	12	11	8	5	3	7	38
R3.5	4	3	12	9	9	3	5	7	38
R3.6	4	4	12	9	9	3	4	8	37
R3.7	4	4	11	10	9	5	4	8	39
R3.8	4	4	11	10	9	5	4	8	39
R3.9	5	4	12	10	9	3	6	9	40
R3.10	5	2	14	10	10	3	4	7	41
R3.11	5	2	14	11	9	3	4	7	41
R3.12	5	2	13	11	10	3	5	7	42
R4.1	5	2	11	12	9	3	5	7	40
R4.2	5	2	12	10	9	2	3	7	36
R4.3	5	2	13	11	9	2	3	7	38
平均	4.58	2.83	12.16	10.33	9.08	3.16	4.16	7.33	38.91

# 令和3年度 事業報告

社会福祉法人 慈敬会

特別養護老人ホーム ヒューマン・ケアたかぼの杜

# 令和3年度 たかばの杜 入所事業報告資料

令和 4年 3月 31日

## 1. 利用状況

### 1-1 利用者の状況 (令和3年3月31日現在)

	男性	女性	合計
入所者数	6	18	24

### 1-2 入所利用者の要介護度

介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計	平均
人数	0	0	3	15	6	24	4.13

### 1-3 年齢別利用者数

年齢(歳)	70~74	75~79	80~84	85~89	90~	平均年齢
男性	2	0	1	2	1	82.7
女性	1	0	1	3	15	90.9
						88.8

### 1-4 入所申込(待機)の状況

介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
人数(人)	0	1	6	2	1	10

### 1-5 入所利用状況

	実日数	延人数		入・退所		利用率(稼働率)
	入所	入所	短期	入所	退所	入所
4月	30	787		0	1	97.2%
5月	31	758		0	2	90.6%
6月	30	651		2	2	80.4%
7月	31	813		3	0	97.1%
8月	31	825		0	0	98.6%
9月	30	730		1	2	90.1%
10月	31	806		0	1	96.3%
11月	30	737		2	3	91.0%
12月	31	735		1	0	87.8%
1月	31	726		2	2	86.7%
2月	28	700		0	0	92.6%
3月	31	768		0	1	91.8%
累計/平均	30.4	9036		11	14	91.7%



## 2. 苦情処理について

苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員	
土屋 政伸	野村 佳宏	井 子文	横山 廣秋

### 苦情・相談内容及び件数

受付日	内容	解決策	
R3. 10. 23	利用者のご家族から利用者の状態について問い合わせがあり看護師が対応して報告したがその後再度電話があり「そちらの看護師がため口で話してきた」「私はその看護師さんに会ったことがない。私の友達が言うにはよそはスタッフが入ったら挨拶に来ると聞いた。私はしよっちゅう面会に行っているのに。おたくはそういう考えのない施設なのか」とお怒りの様子であった。	その後も2回程電話があり、相談員がその都度対応した。ご家族も会話を録音されていたようだが、「あとから会話を聞き直すと悪気があって言ったわけではないと思う」と、ご自身で振り返った後に勘違いしたと思われたようである。 またニュースで介護施設の不祥事などを見て気にされていたようで、「仕返しとかされたら嫌だから」と話されていたが、当施設はニュースで言われているような施設ではないこと、今後でも気にかかる部分があればお話して下さいとお願ひし電話を終了した。 今後でも苦情の際は話を傾聴してご家族の不安軽減に努めていくこととした。	
R3. 11. 22	利用者のご家族（上記苦情と同じ方）から連絡あり、「一昨日芦北の友達を連れて面会に来たけど、友達が言うには、利用者が着替えをしておらずパジャマにひざ掛けのようなものをかけてあった。スカーフも前はつけてくれていたけどつけてないし、靴下もはかせていなかった。介護長には面会の時、特に誰か連れてくる時には身ぎれいにしてほしいと要望してわかってもらっているはずなのにどうなっているのか」とのことだった。利用者一人で放置していた旨の指摘も友人の方から指摘があったとのことでそれも聞くと、利用者をエレベーターから降ろして、実際の面会の前に事務所の前にある手袋をつけてもらうため取りにいった時のことを言われていたようだったのでその旨説明した。	その日の夕方にも同様の件で電話があり、「うちの母に着替えをさせるのは問題があるんですか」と聞かれたため、相談員が「今のお体の状態だと着替えをすることが体に負担がかかることもあります」と話す。「それじゃ私がわがままを言っているみたいじゃないの」と機嫌が悪くされた。さらにお話を続けそのような意味の話ではないことを説明し理解していただけたようではあるものの、「無理には着替えさせなくていいです。でもなかなか会えない人が来てくれてかせているんだから身ぎれいにしてほしい」ということで分かってもらっている。次の面会の時は宜しくおねがいますね」と話され、やや落ち着いた様子もありお話を終了した。次の面会の際は機嫌も悪くなく、職員から再度説明してご納得頂いた。 今後でもご家族の要望をお伺ひし、対応できる所とできない所につき理解を頂くようお話していくことが必要と思われる。	
		合計	2件

## 3. 防災管理について

### 総合防災訓練の実施状況（2回／年実施）

<p>【第1回目】…令和3年6月22日に総合防災訓練を実施（日中想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・階段ドアの防煙対応を改善することとし、職員間で再度防災についての資料回覧を行った。</li> </ul>
<p>【第2回目】…令和4年1月29日に実施。（夜間想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署からの電話対応がしやすいよう、火災報知電話機そばに施設住所・連絡先の表示を行うこととした。また、各ユニット入、口に避難経路、消火器設置場所を表示した。</li> </ul>

### 消防用設備等の点検状況（三菱電機ビルテクノサービス）2回／年実施

<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年7月21日実施。…不備なし</li> <li>・平成4年1月11日実施。…不備なし</li> </ul>
--

#### 4. 職員数、職員採用状況

令和4年3月31日付：職員数26名（前年同月数－2名）：正職員20名、パート職員6名  
 ＊産休育休1名 ＊こうしの杜との兼務者は除く

- ・男性9名 女性17名
- ・合志市在住者 12名（46%）
- ・退職者6名（介護職3名、介護職2名）
- ・入職者4名（介護職2名、看護職2名）

#### <入所事業>

配置基準の職種（人数）	人数（兼務）	有資格（前年数）
施設長：1 本体との兼務可	(1)	社会福祉士 1名 (2)
看護職：1	3	看護師(准含む) 3名 (4)
介護職：10	12	介護福祉士 12名 (11)
介護助手：0 基準なし	2	介護支援専門員 1名 (5)
生活相談員：1	1	社会福祉主事 1名 (2)
介護支援専門員：1	1	管理栄養士 1名 (1)
管理栄養士：1 本体との兼務可	1	栄養士 1名 (2) ユニットリーダー研修受講者 2名 (2)
機能訓練指導員：1 本体との兼務可	0	認知症介護実践リーダー研修修了者 1名 (2) 認知症ケア専門士 2名 (4)
事務職：本体との兼務可	1	介護職員基礎研修修了者 0名 (1) (介護福祉士資格以外)
調理員：本体との兼務可	3	
清掃：	2	
委託医（非常勤）	(1)	
計	26 (2) 名	

#### 5. 入職、退職者状況

昨年度と同様に配置基準を満たしているが、依然として夜勤ができる人が不足している。職員の高齢化により、業務の工夫とケアのICTによる負担軽減が課題である。

#### 6. 職員 福利厚生

- ・新規採用時の職員健康診断
- ・法定健康診断（年2回）
- ・インフルエンザ予防接種

#### 7. 入職者研修

入職者が4名であったが、数ヶ月で3名退職したため研修は開催しなかった。

## 8. 施設委員会

以下の委員会を編成し、円滑な施設運営と入居者の方へのケアの向上に努めている

- ・ 研修記録委員会 (月1回の施設内研修内容を考える ケアの質的向上)
- ・ ケア改善委員会 (日々のケアや業務改善を考える)
- ・ リフレッシュ委員会 (日々のレクレーション・余暇活動・季節行事の充実を考える)
- ・ リスクマネジメント委員会 (危機管理 施設内のリスク回避や介護事故予防を考える)
- ・ 身体拘束適正委員会 (高齢者の権利擁護を考える)

リスクマネジメント委員会との兼務

- ・ 保健衛生委員 (衛生管理、感染症予防を考える)

R2年4月から新型コロナウイルスの情報収集を行い、そこからその都度、職員に情報提供と注意勧告を続けた。それをマニュアル化し3度改正行った。

感染予防のための備品管理補充、施設内消毒

- ・ 環境美化委員会 (施設内美化、環境整備、エコを考える)
- ・ 災害防災対策委員会 (施設内の防災、地域災害時の支援活動を考える)  
事業継続計画 (BCP) 作成
- ・ 広報委員 (広報誌の作成、施設外への広報活動)
- ・ 栄養管理委員会 (健康管理 栄養マネジメント 食の愉しみを考える)

各委員会は、少数人数のため会議室でお互いの距離を保ち、月1度の委員会を開催し業務を実行した。各委員会が企画する行事や研修会等は、通常に比べ縮小したり中止としたり、全国や熊本県下の感染状況や動向を留意しながらケアや業務を行った。

今年度より虐待防止委員会を改に設置義務つけられたためリスクマネジメント委員会と兼務としている。

## 9. 令和3年度 入居者ケア（活動）報告

### 1) 主な活動 \*は、地域交流内容

年月	施設運営設備管理	主な行事・余暇活動 *地域交流	職員研修会（内部）
R3年 4月	新型コロナウイルス予防対策 施設内消毒の徹底		・職員のメンタルサポート
5月	食中毒予防月間	面会中止・リモート面会 お茶会	・「zoom を習得しよう」
6月	害虫駆除、草取り清掃 カルテ整理 3回目コロナワクチン	面会開始	・食中毒について ・新型コロナクラスター施設の 実践報告
7月	消防避難訓練・点検 インターネット工事	七夕飾り	・高齢者ケアに関する倫理と 権利擁護
8月		夕涼み花火（19：00～） ミニ納涼祭	・国保連主催 ZOOM研修 （レポート提出）
9月	害虫駆除	敬老会・式典（ご家族参加なし） 面会開始・リモート可	・災害時の対応：こうしの杜 ・リスクマネジメント 分析集計
10月		紅葉ドライブ スポーツ大会・文化祭	・見取りケアについて
11月	インフルエンザ予防接種		・感染管理 （新型コロナウイルス以外の感染症）
12月	施設内外大掃除 害虫駆除 リモート面会開始	ゆず湯 クリスマス・忘年会 （ご家族参加なし）	・コロナウイルスの知識総集編 鮑田先生講義
R4年 1月	防災訓練・点検	正月行事・獅子舞 面会中止・リモート面会	職員のメンタルサポート 理事長講義
2月	アトレ車両車検	節分イベント 雛飾りつけ	・リスクマネジメント （事故の分析と改善策について） ・R2年度委員会編成 ・入職者研修（終日・2日間）
3月	次年度委員会計画立案 備品在庫整理 消防点検	面会開始 近隣花見ドライブ	・R3年度活動報告 ・R4年度活動計画 ・処遇改善支援金について
備考	エレベーター点検1回/3ヶ月 運営推進会議中止	月1回：ユニット調理（一時中止） 介護相談員訪問中止 ご近所喫茶中止	

## 2) 入所ケア 活動報告詳細

### ①食事サービスについて

#### 【給食に関する方針】

入居者様を食事づくりに参加できる機会を作って、残存機能を生かし、生きがいの場を設ける。安全・安心な料理の提供、また、地産地消をとり入れる。  
その土地の食材や郷土料理をとり入れ、家庭的で高齢者になじみのある料理を提供する。

#### 【栄養量等の状況】

	エネルギー kcal	蛋白質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミンC mg	塩 g
令和2年度の 栄養所要量	1541	53.5	635	6.4	100	6.9
令和2年度 給与栄養量	1706	61.1	662	8.6	122	9.8

#### (1) 利用者がくつろいで食事出来るような配慮及び対応

なじみの人とテーブルを囲んで食べる。各自の湯のみを持参する。  
また、食器は陶器を使用して家庭的な雰囲気を作っている。

#### (2) 利用者の身体状態（咀嚼能力、健康状態等）に合わせた調理への配慮及び対応

その都度栄養士に報告し、次の提供時に対応できるようにしている。  
カンファレンスにて報告、また、栄養士が食事場面を巡回し、確認して対応している。

#### (3) 食事が適温で食べられるような配慮及び対応

ユニットには、冷蔵庫・電子レンジ、IHコンロがあるので、  
遅れて食べる人には対応している。各ユニットにてご飯を炊いている。  
また、汁物は各ユニットで温めている。

#### (4) 利用者の身体状態に応じた食事のための自助具等の活用

個人用自助具は各自持参してもらっている。  
麻痺や視覚障害がある人にはその人にあった陶器を使用している。

#### 【食事形態】

令和4年3月1日現在

軟菜食	刻み食	やわらか食	極キザミ食	ミキサ一食	ミキサー 半分食	合計
10	3	0	3	6	4	26

(在籍入居者 26名)

#### 【食費】

朝食：380円 昼食：500円 夕食：512円 1日：1,392円

## ②入居者の方へのケアについて

こうした杜同様に介護システム（記録の音声入力）開発モデル施設として実施試験を行っている。  
（こうした杜事業報告参照）

## ③ケアカンファレンス

朝の引継ぎ後 25～15 分のカンファレンスは継続して行っている。その内容はおひとりお一人についてのケアの方法や業務の見直し、お見取り前のケアの統一、お見取り後の振り返り等の検討を行いケアの統一を行っている。カンファレンスはチームワークにおいても重要なことと位置づけている。感染対策として、お互い距離をとってカンファレンスを行っている。

## ④ケアプラン・機能訓練実施状況

ケアプランに基づき個別の機能訓練計画書を作成し実施している。通常であれば計画書の内容は、歩行訓練や移乗動作訓練に加え、生活に即した動作の習慣や食事の下ごしらえ、食事の準備や後片付け、掃除や洗濯物の整理など入居者間の交流を行いながらの機能訓練であるが、新型コロナウイルス感染対策により、入居者の方同士の距離や接触を少なくする目的で実施プランは個人での機能訓練が主な内容となった。

ケアプラン発表については、今年度もご家族の参加はご遠慮いただき、後に書面で報告とした。

## ⑤余暇活動について

日々の余暇活動については、個別のケアプランを基にその日のユニット担当者が実行している。また、それ以外にリフレッシュ委員会で季節のイベントや外出ドライブを計画し感染症の状況を見ながら、できる限り中止にせず縮小または時期をずらし実行した。

## ⑥感染症対策について（総括）

昨年に引き続き感染症の注意勧告→ご家族への面会制限・解除から面会中止の繰り返しの対応を行った。特に職員への感染症に関する情報伝達や注意警告等はグループ LINE を使用し啓発を行った。更に厚労省の参考資料を基に新型コロナウイルス感染予防マニュアルの見直しや追加記載を行った。その内容は、①入居者の方への配慮やケアについて ②職員の日常生活や就労上の注意等のまとめ ③感染症発生時の対応等、フローチャート作成 ④ガウン着脱手順の確認を行い職員に周知した。また、コロナウイルスワクチン接種状況については入居者の方、職員ほぼ全員 3 回目まで接種を済ませている。

## ⑦入居者の健康管理について

入居前には、嘱託医先に受診しご家族と医師が接見し、その後もご本人とご家族が医師からの心身上の説明を受け、安心して施設生活を送れるように医師と連携している。施設内の健康管理は、月 2 回金曜日に嘱託医の往診がある。内服の変更や症状の変化があれば、ご家族へ随時連絡している。また、病状の増悪が懸念される場合や今後の療養の検討が必要な場合には、早期に医師からの説明を受けられるようにご家族に連絡を行い、今後の療養を医師とご家族と相談している。

## ⑧ご家族面会について

熊本県県下の新型コロナウイルス感染症の発生状況により、面会を解除したり中止したりを繰り返した。入居者の方の状態が不安定な時やお見取り時期には、他入居者の方が室内におられる時間に面会していただいた。

### 嘱託医とご家族面談の詳細

- 1) 入居者の方の状態が変化したとき
- 2) 状態が悪化傾向にあり今後の療養が心配される時
- 3) ご家族からの相談があったとき
- 4) 看取り期と嘱託医が診断されたとき

## ⑨施設でのお看取り状況について

最後まで施設で過ごされ、施設でのお看取りをさせていただいたのは10名の方であった。

ご家族には、嘱託医と面談し状態説明を受けていただき安心して療養できるように配慮した。

また、お看取り時期と診断されてからは、通常面会中止であっても感染対策を行って面会をしていただいた。

ケアについてはケアプランに沿って看護と介護職で協力しながら、ご本人の身体の消耗を最小限に考え、表情や呼吸の観察を密に行いご本人の安心、安楽に配慮した。